第３回　佐賀市公立保育施設のあり方検討委員会

説明資料

令和８年９月３０日
佐賀市こども未来部　保育幼稚園課

公立保育施設の目指すべき方向性

前回までのまとめ

【公立保育施設の期待される役割（取組）】

保育の質向上を支える拠点設置

(1)保育の実践研究

公立保育施設を**インクルーシブ保育の実践研究拠点**として位置付け、インクルーシブ保育の推進を図る。

(2)人材育成

公立保育施設を**実践型の研修や公開保育の場**とし、市内の保育士の専門性向上に寄与する。

(3)保育現場の支援

市内の私立保育施設を訪問する**「巡回指導」の取組みを強化**

小中高生の保育士就業機運の醸成

小中高の学生が保育施設において乳幼児と触れ合いながら、子どもの成長を支える保育士の仕事や役割について学ぶ「**職場体験や保育現場との交流機会**」を提供

子育て支援機能の強化

・公立保育施設の園庭開放等の実施　・保育人材を活用した子育て支援センター機能の強化（託児・相談体制等の拡充）

セーフティネット機能の維持

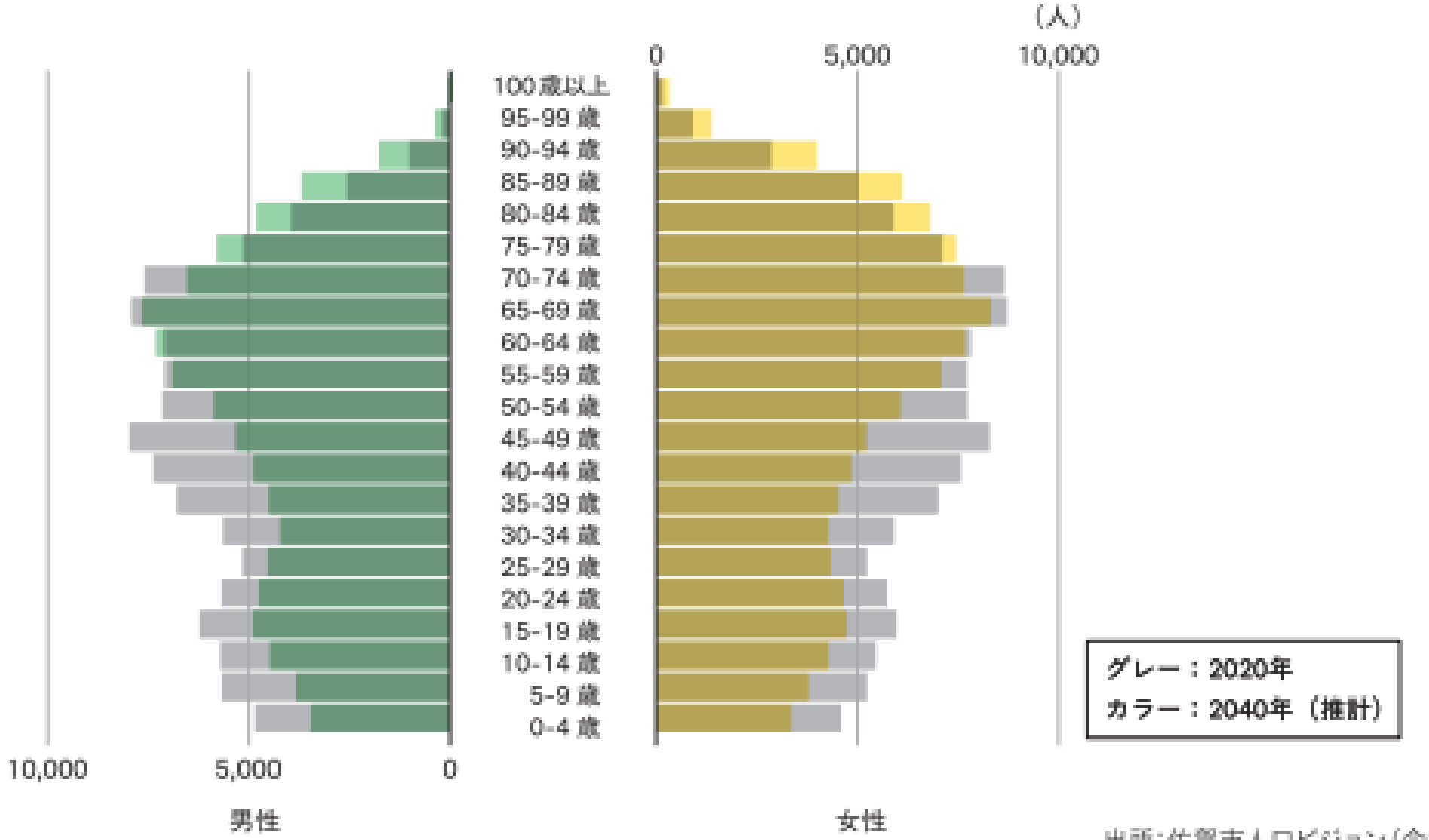
市が運営する公立保育施設を一定数維持していくことで、引き続きセーフティネット機能としての役割を果たす。

期待される役割についての公立保育施設の取組を私立保育施設へ展開することで、市内全体の「保育の質の向上」と「保育環境の充実」につなげる。

期待される役割や施設老朽化の現状を踏まえ、人的・物的リソースを効果的に活用していく

施設の集約化に向けた分析

【本市の将来人口推計】

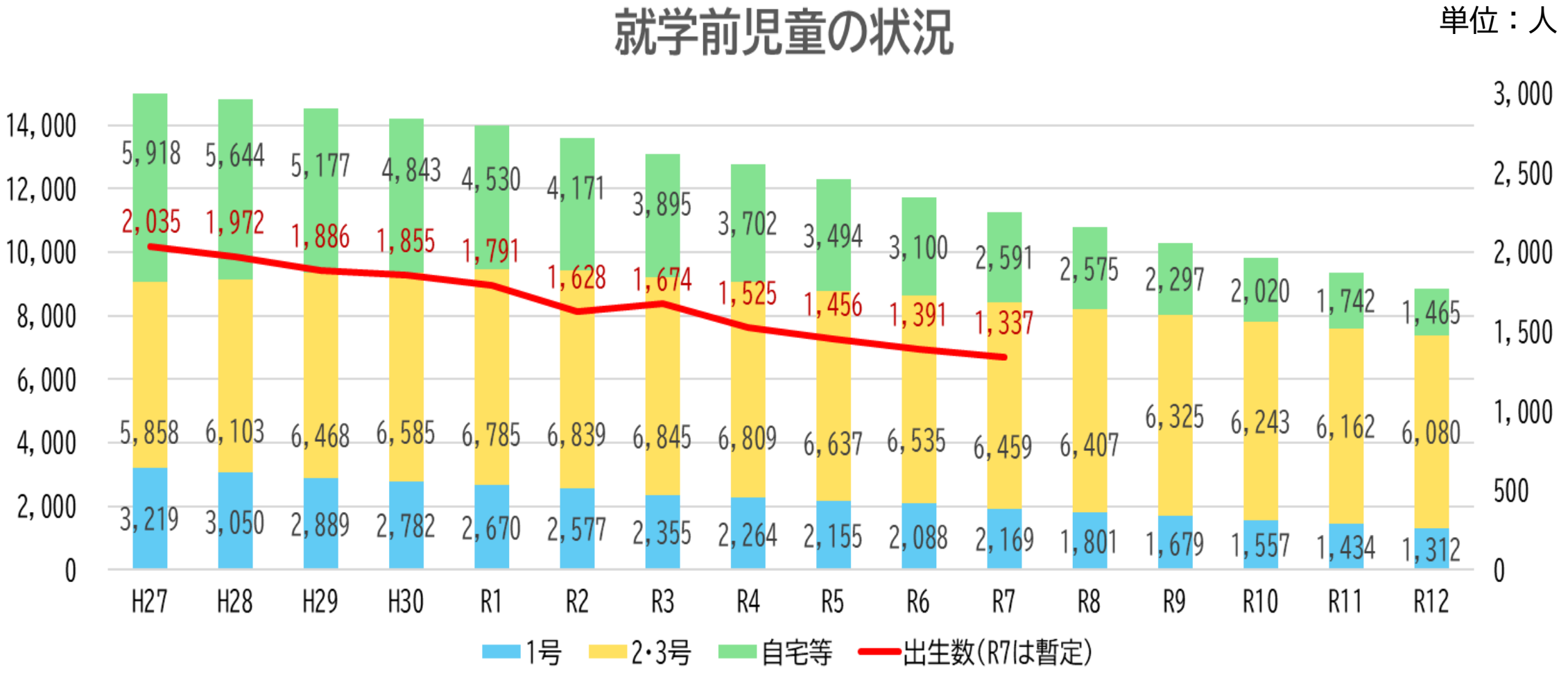


出所：佐賀市人口ビジョン（令和４年度）

施設の集約化に向けた分析

【保育需要の推計（第１回資料から）】

※保育需要は逓減傾向



施設の集約化に向けた分析

【私立の保育供給状況について】

公立保育施設周辺（施設を中心とした半径５００ｍ圏内）の保育提供体制（認可外及び公立保育施設除く。）

公立	周辺の保育施設数				年齢	在園児数 ※1号認定除く	受入可能 ※1号認定除く
	認定こども園	保育園	幼稚園	地域型			
川原保育所	3	0	0	1	0歳	16	3
					1歳	32	2
					2歳	23	3
					3歳	24	2
					4歳	20	3
					5歳	14	3
合計						129	16
若葉保育所	0	0	0	0	0歳	0	0
					1歳	0	0
					2歳	0	0
					3歳	0	0
					4歳	0	0
					5歳	0	0
合計						0	0

公立	周辺の保育施設数				年齢	在園児数 ※1号認定除く	受入可能 ※1号認定除く
	認定こども園	保育園	幼稚園	地域型			
城東保育所	1	0	1	0	0歳	5	0
					1歳	8	2
					2歳	8	4
					3歳	12	3
					4歳	15	0
					5歳	16	0
合計						64	9
本庄こども園	1	0	0	1	0歳	17	1
					1歳	33	0
					2歳	19	3
					3歳	18	3
					4歳	15	3
					5歳	23	0
合計						125	10

※受入可能：各保育施設の９月受入可能園児数の合計

施設の集約化に向けた分析

【公立の保育供給状況について】（R8.9.1時点）

単位：人

川原保育所			定員	在園児	必要人数	配置人数		
							正規	非正規
所長・主任						2	2	
看護師・調理員・用務員						6	3	3
保育士等	0歳児	（3：1）	12	3	1	2	1	1
	1歳児	（6：1）	19	5	0.8	1	1	
	2歳児	（6：1）	19	8	1.3	2	1	1
	3歳児	（15：1）	23	9	0.6	2	1	1
	4歳児	（30：1）	23	10	0.3	1	1	
	5歳児	（30：1）	24	11	0.4	1	1	
	小計		120	46	4.1	9	6	3
	特別支援保育					2	2	
	フリー保育士					2	1	1
	一時預かり					2		2
	誰でも通園					1	1	
施設合計			120	46		24	15	9

※このほか、短時間勤務の非正規７名在籍（うち保育士等５名）

若葉保育所			定員	在園児	必要人数	配置人数		
							正規	非正規
所長・主任						2	2	
看護師・栄養士・用務員						3		3
保育士等	0歳児	（3：1）	12	3	1.0	1	1	
	1歳児	（6：1）	18	11	1.8	2	1	1
	2歳児	（6：1）	18	11	1.8	2	2	
	3歳児	（15：1）	24	14	0.9	1	1	
	4歳児	（30：1）	24	19	0.6	1	1	
	5歳児	（30：1）	24	19	0.6	1	1	
	小計		120	77	6.9	8	7	1
	特別支援保育					5	2	3
	フリー保育士					2	2	
施設合計			120	77		20	13	7

※このほか、短時間勤務の非正規１０名在籍（うち保育士等１０名）

施設の集約化に向けた分析

【公立の保育供給状況について】（R8.9.1時点）

単位：人

城東保育所			定員	在園児	必要人数	配置人数		
							正規	非正規
所長・主任						2	2	
看護師・調理員・用務員						5	2	3
保育士等	0歳児	（3：1）	15	1	0.3	1		1
	1歳児	（6：1）	18	3	0.5	1	1	
	2歳児	（6：1）	18	10	1.7	2	1	1
	3歳児	（15：1）	23	10	0.7	1	1	
	4歳児	（30：1）	23	8	0.3	1	1	
	5歳児	（30：1）	23	11	0.4	1	1	
	小計		120	43	3.8	7	5	2
	特別支援保育					1	1	
	フリー保育士					2		2
施設合計			120	43		17	10	7

※このほか、短時間勤務の非正規１０名在籍（うち保育士等８名）

本庄こども園			定員		在園児		必要人数	配置人数		
			1号	2･3号	1号	2･3号			正規	非正規
所長・副園長								2	2	
看護師・栄養士・用務員								3		3
保育士等	0歳児	（3：1）		9		3	1.0	1	1	
	1歳児	（6：1）		12		11	1.8	3	2	1
	2歳児	（6：1）		12	4	11	2.5	3	1	2
	3歳児	（15：1）	20	14	13	12	1.7	2	2	
	4歳児	（30：1）	20	14	17	14	1.0	2	2	
	5歳児	（30：1）	20	14	7	14	0.7	1	1	
	小計		60	75	41	65	8.7	12	9	3
	特別支援保育							5	1	4
	支援センター							6	2	4
施設合計			60	75	41	65		28	14	14

※このほか、短時間勤務の非正規２０名在籍（うち保育士等２０名）

施設の集約化に向けた分析

【施設状態評価】

施設	築年数	構造	経過年数	法定耐用年数	法定耐用残年数	各指標の評価順位			総合順位
						経過年数順	耐用年数順	点検結果(※)	
川原	H5.3	RC	33年	47年	14年	4	2	4	3
若葉	H23.11	W	14年	22年	8年	2	3	2	2
城東	H11.2	S	27年	34年	7年	3	4	3	3
本庄	R6.2	W	2年	22年	20年	1	1	1	1

川原保育所



若葉保育所



城東保育所



本庄こども園



※特殊建築物等定期点検結果（３年に１回実施）

※評価：高 ～ 低　⇒　Ａ ～ Ｄ

施設	評価		所見
川原	敷地・地盤	C	外灯鋼管支柱に錆あり
	建築物外部	C	壁のコンクリートにひび割れや著しい浮き 電気系設備の錆や腐食等、設備配管等の漏水跡
	屋上・屋根	C	鉄筋の露出やコンクリートの剥落 露出防水層やトップライトのひび割れ等
	建築物内部	C	壁のコンクリートのひび割れ 壁や天井に雨漏りの跡あり
若葉	敷地・地盤	A	特に問題無し
	建築物外部	A	特に問題無し
	屋上・屋根	A	特に問題無し
	建築物内部	A	特に問題無し
城東	敷地・地盤	A	特に問題無し
	建築物外部	A	特に問題無し
	屋上・屋根	C	換気ダクト鋼板に錆あり
	建築物内部	C	天井に雨漏りの跡あり
本庄	－		建築３年以内のため実施無し

施設の集約化に向けた分析

【拠点性評価】

(1) 施設規模

施設	土地面積	建物面積	評価
川原	2,002㎡	809㎡	－
若葉	3,291㎡	991㎡	－
城東	2,803㎡	918㎡	－
本庄	8,422㎡	2,120㎡	○

(2) 立地（通園のし易さ）

施設	評価	特記
川原	○	国道沿い
若葉	○	国道近傍
城東	－	国道近傍、一方通行
本庄	○	国道近傍



(3) 子育て支援機能

施設	評価	特記
川原	－	一時預かり制度やこども誰でも通園制度があるが代替可能
若葉	－	－
城東	－	－
本庄	○	子育て支援センター「つくしんぼう」機能併設

(1)～(3)集計

施設	施設規模	立地	子育て支援機能	総合点数	順位
川原	－	○	－	1	2
若葉	－	○	－	1	2
城東	－	－	－	0	4
本庄	○	○	○	3	1

施設の集約化に向けた分析

【その他の評価指標】

○周辺保育供給体制

施設	周辺施設数	順位
川原	4	4
若葉	0	1
城東	2	2
本庄	2	2

※周辺施設数が少ないほど施設の評価は高くなる

○入所率（※2・3号のみ）

施設	在園児数	入所率	順位
川原	46/120	38.3%	3
若葉	77/120	64.2%	2
城東	43/120	35.8%	4
本庄	65/75	86.7%	1

※入所率が高いほど施設の評価は高くなる

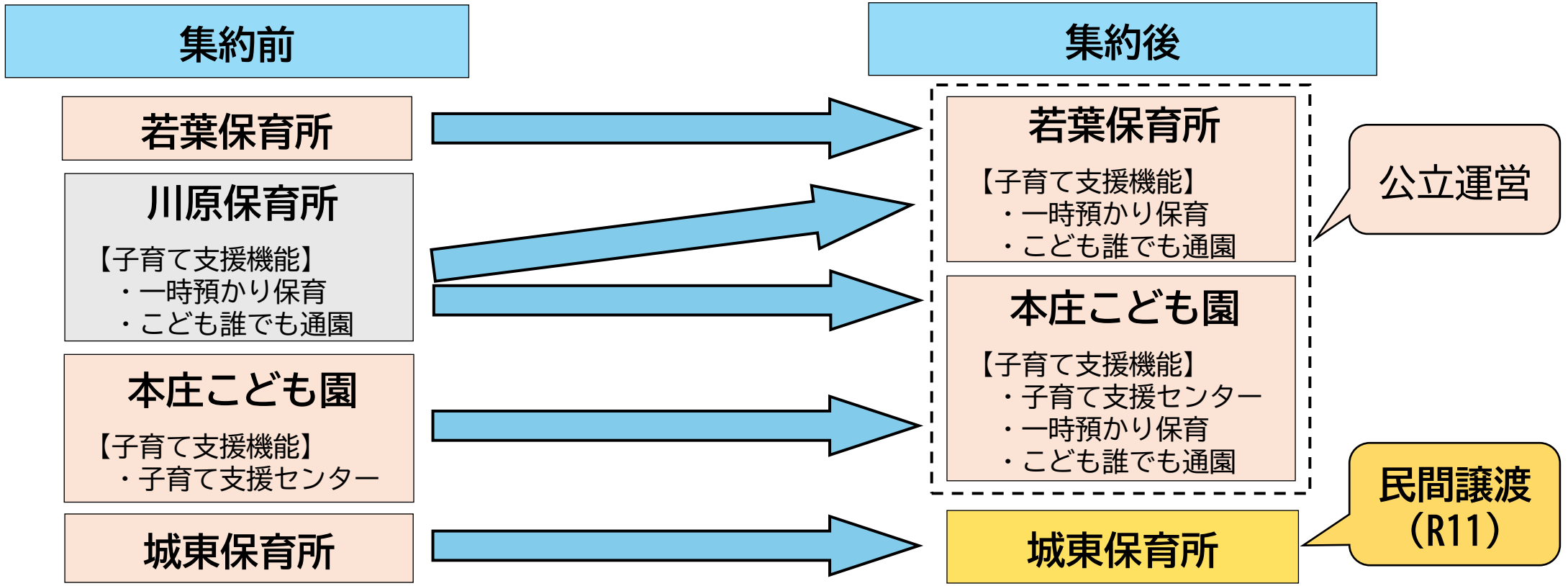
【最終評価（施設重要度）】

施設	周辺保育 供給体制	入所率	施設状態 評価	拠点性評価	総合順位
川原	4	3	3	2	3
若葉	1	2	2	2	2
城東	2	4	3	4	4
本庄	2	1	1	1	1

将来にわたり安定した保育環境を確保するため、施設の集約化を図る

公立保育施設の適正配置案

川原保育所を若葉保育所及び本庄こども園へ統合し、城東保育所を民間譲渡する案



※川原保育所の子育て支援機能は若葉保育所、本庄こども園に引き継ぐ。

【ポイント】
・築年数が長く、将来的な施設整備を見据え、川原保育所を他の２施設に統合
・私立の保育提供体制については、城東保育所周辺より川原保育所周辺の方が比較的高い。

適正配置に向けたスケジュール案

年月	川原保育所（統合）	城東保育所（民間譲渡）
R8.9.30	第3回佐賀市保育施設のあり方検討委員会	
R8.10下旬	第4回佐賀市保育施設のあり方検討委員会	
R8.12～	12月定例会 教育環境委員研究会 計画公表（集約対象施設など） 保護者説明会、保護者個別対応	
R9年度	跡地活用方針決定、議会説明	法人選定
R10年度	財産処分手続き、例規改正	譲渡（移管）準備、引継ぎ共同保育
R11.4～	**施設閉鎖**	**譲渡（移管）完了**